



静かなる文化クライシス

— 未来世代に近代日本の何を遺すか —

超高齢化や地域コミュニティの弱体化により、日本の近代資料が失われつつあります。これらは単なるモノではなく、「生きた歴史」です。文化の危機にどう向き合い、資料を未来へ継承するか。そこに市民はどう関わりうるのか。かけがえのない記憶を守り、未来を共創していく方法を一緒に模索しませんか。

2025 12.6 Sat 13:00~17:00



会場：京都大学吉田キャンパス 総合研究4号館 第一会議室

アクセスマップ

総合研究4号館は38番の建物です

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-y>

対象者：どなたでも、特に文化を繋いでいくことに心惹かれる方



定員：100名(事前予約制) 参加費：無料

申込方法：申込QRコードからお申し込みください。

申込QRコード

<https://forms.gle/ABi8X665BWqEfhwX47>

企業資料

講演時間 13:05~13:35

『暮らしの手帖』の理論と実践



難波 達己

(暮らしの手帖社)



藤原 辰史

(京都大学 人文科学研究所 教授)
専門：食と農の現代史

地域資料

講演時間 13:35~14:05

あまがさきアーカイブズにおける近現代史料の収集と課題



久保庭 萌

(尼崎市立歴史博物館
あまがさきアーカイブス)

専門：日本近現代史

学術資源

講演時間

14:05~14:35

湯川秀樹旧宅の資料保存運動に関わって



岡田 知弘

(京都橘大学 学長
京都大学 名誉教授)

専門：地域経済学・近現代日本経済史

宗教資料

講演時間

14:50~15:10

近世・近代文書の保存・
公開－法華宗本門流大本山
本興寺所蔵文書を事例に－



岩城 卓二

(京都大学
文科学研究所 教授)

専門：歴史学(日本近世史)

人物資料

講演時間

15:10~15:40

石牟礼道子旧蔵資料整理
プロジェクトに関わって



福家 崇洋

(京都大学
人文科学研究所 准教授)

専門：日本近現代史

15:55~16:55

総合討論